

原水爆禁止 2010年世界大会・科学者集会 核兵器廃絶の流れを一層大きくしよう

- 日時： 2010年8月1日(日) 午前10時より午後4時半
- 会場： 静岡県職員会館(もくせい会館) 富士ホール
(地図参照：静岡市葵区鷹匠3-6-1、電話054-245-1595)
- 参加費： 会員・一般 1000円、 大学院生 500円

実行委員会からの訴え

2010年3月26日、オバマ米大統領とメドベージェフ露大統領は、電話会談で戦略核弾頭の上限を1550発、核弾頭運搬手段であるミサイル、爆撃機の上限を800基・機までに削減することに合意しました。

そして4月、オバマ大統領が「核兵器のない世界」と演説したチェコ・プラハで調印され、The World without Nuclear Weapons への第一歩として人類に希望を持たせました。

核兵器は科学者たちによって開発され、広島、長崎、ビキニで大きな惨禍をもたらしました。しかし、その後も、米ソの核兵器開発競争はとどまるところを知らず、膨大な核兵器が蓄積されてきました。1962年キューバ危機では、米ソ間の核戦争の危機が現実化しました。

さらにイギリス、フランス、中国、インド、パキスタン、イスラエル、北朝鮮など多数の国に核兵器が拡散した結果、偶発的な事故、テロ組織による略奪、国家間の小さな衝突が核兵器の引き金を引く可能性も無視できないものとなっています。

米ソの核兵器開発競争は、1983年のレーガン米大統領のSDI(戦略防衛構想)で1つの頂点に達しました。同じ時期に、もし核戦争が起こった場合は、人類は絶滅し、「核の冬」が出現するということが、科学者たちの研究で明らかにされました。それは米ソの首脳部に衝撃を与え、米ソ間の戦略核兵器削減交渉を現実のものとししました。

そして、今年、日本では日米首脳間でなされてきた核密約の存在が明らかにされました。さらに5月には、核兵器拡散防止条約(NPT)再検討会議が米国ニューヨークで開かれました。国内外ともに核兵器廃絶運動は新たな段階を迎えつつあります。

核兵器のない世界の実現は、広島・長崎の被爆者、ビキニ水爆被爆者をはじめ、人類全体の願いです。そうした人々の願いと運動が今日の状況をつくりだしてきました。このような中で私たちは今回、静岡市で23回目の原水禁科学者集会を開き、核兵器のない世界を実現するために何をなすべきかを議論します。静岡の地から、強いメッセージを世界に発信しましょう。多くの皆さんが全国から参加されることを強く訴えます。

2010年6月

原水爆禁止 2010年世界大会・科学者集会実行委員会
委員長 林 弘文

<原水爆禁止 2010 年世界大会・科学者集会 プログラム>

- 9:30 開場
- 10:00 <開会あいさつ> 実行委員長 林弘文（静岡大学名誉教授）
- 10:10 <基調報告> 「原水爆禁止世界大会・科学者集会を取り巻く情勢と課題」
浦田賢治（早稲田大学名誉教授）
- 11:10 <報告 1> 「新たな激動の中の日米同盟再編 沖縄の基地「移設」から見えること」
亀山統一（琉球大学）
- 11:40 <報告 2> 「米口新核軍縮条約と米国の核態勢見直し（NPR）」
沢田昭二（名古屋大学名誉教授）
- 12:10 （昼食休憩）
- 13:10 <海外代表の特別報告>ライナー・ブラウン（ドイツ反核法律家協会事務局長、地球的责任のための技術者・科学者国際ネットワーク・プログラムコーディネーター）
- 14:10 <報告 3> 「2010 年 NPT 再検討会議に参加してー学生の視点からー」
畑 哲也（静岡大学学生）
- 14:30 （休憩）
- 14:40 <報告 4> 「原子力平和利用と核拡散」 野口邦和（日本大学）
- 15:00 <報告 5> 「焼津平和賞の創設とその意義」 佐藤博明（元静岡大学長）
- 15:20 （総合討論）
- 16:20 <集会まとめと閉会挨拶>
- 16:30 閉会

◆ 集会の進め方

- ・ プログラムのように分科会方式はとらず、すべて全体会で行います。
- ・ 時間は限られますが、会場からも積極的な発言を期待します。ご希望の方は添付の参加申込書に必要事項を記入して、あらかじめご送付ください。発言はお一人3分以内でお願いします（時間厳守）。

◆ 参加申し込みなど

- ・ 集会にご参加の方は、添付の申込書に必要事項を記入して、なるべく早く実行委員会へご送付ください（FAX またはMAIL 可）。もちろん、当日のご参加も受け付けますが、準備のため、事前申し込みにご協力ください。
- ・ 宿舎が必要な方は、各自で手配をお願いします。

◆ 参加費

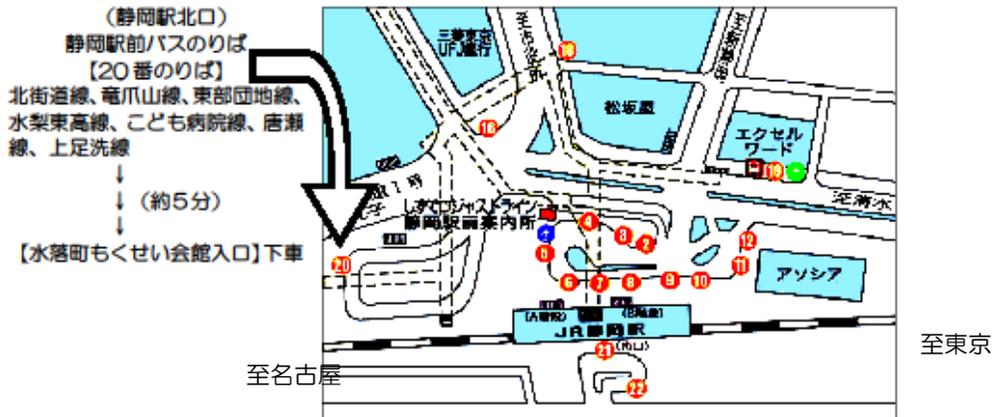
- ・ 集会の参加費は当日、受付でいただきます。

原水爆禁止2010 年世界大会・科学者集会実行委員会
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル9階
日本科学者会議気付
TEL 03-3812-1472 FAX 03-3813-2363
E-Mail zenkoku@jsa.gr.jp

原水爆止2010年世界大会・科学者集会参加申込書

氏名：	勤務先・所属団体など
連絡先：〒	
TEL	E-Mail
会場から発言を希望される場合、そのテーマなどをご記入ください。	
備考：	専門分野

会場への案内図



バス停【水落町もくせい会館入口】



<原水爆禁止 2010 年世界大会・科学者集会 実行委員会>

委員長

林弘文（静岡大学名誉教授、物理学）

事務局長

橋本誠一（静岡大学、法制史）

事務局次長

野口邦和（日本大学、放射線防護学）

委員 今井証三（元日本福祉大学、憲法学）

水戸喜平（元静岡県農業試験場）

石原洋介（三重短大、金融論）

石井潔（静岡大学、哲学）

中須賀德行（岐阜大学名誉教授、化学）

河村洋（元産技研、リハビリテーション工学）

鳥畑与一（静岡大学、国際金融論）

松井安俊（元産技研、環境科学）

小倉将志郎（静岡大学、金融論）

石原剛志（静岡大学、幼児教育）